

令和元年度那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会議事録

日 時 令和元年9月2日(月) 午前10時～11時30分  
場 所 健康長寿センター 1階保健センター  
参加者 推進委員会委員15名(名簿参照)  
保健福祉部 田代部長、社会福祉課 板橋課長、宇賀神課長補佐  
社会福祉係 磯係長、鈴木主任  
社会福祉協議会 中村事務局長、羽金事務局次長、後藤地域福祉課長、  
地域支援係 細川係長、柴田主事

1 開 会 (板橋課長)

2 委嘱状交付

3 福祉事務所長挨拶

・田代部長

4 委員・事務局自己紹介

5 委員長及び副委員長の互選

互選の方法については、事務局一任との意見があり、事務局案として、委員長に磯 文康委員、副委員長に渡邊 シヅイ委員を提案し選出

6 委員長・副委員長挨拶

7 協議事項

(1) 全体評価について

①平成29年度実施分の評価のフィードバックの結果

【板橋課長】

那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画につきましては、3つの基本目標、そこにぶらさがる10個の施策の方向性があります。合わせて13項目になります。こちらの評価を進めていっていただきたいと思います。ここからは磯委員長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【磯委員長】

早速、協議事項(1)の平成29年度分実施分の評価のフィードバックの結果を進めてまいりたいと思います。どのように行政や社協の取組に前年度の意見等をいただいたものが反映されているのか、事務局から説明をお願いします。

【磯係長】

事務局の社会福祉係長 磯と申します。私の方から29年度のフィードバックの結果、概要について説明申し上げます。資料は29年度のフィードバック結果などと記載してあるものをご覧ください。

1の平成29年度評価の全体的な総括として、個別の事業や取組などについて各論はあったが、評価の総括としては推進委員の方の評価を市や社協の担当部署にフィードバックして、PDCAサイクルを上手く回すようにというご指示でした。また、市や社協の自己評価について、CやDの評価が散見され、特に市の企画や総務部門においては本計画の実現に向けての取組が遅れているように見受けられたので、改善を図るようにとのご指示でした。

それを踏まえまして2の評価結果のフィードバックにつきましては、推進委員からの評価結果を市や社協の担当部署にフィードバックし、平成30年度の事業や取組に反映させるよう指示をいたしました。そしてPDCAサイクルが上手く回り、本計画のさらなる進捗があるよう取組をいたしました。

3のフィードバックの結果として、市及び社協の自己評価項目は118項目あります。その項目ごとの29年度と30年度の判定の数を整理した図を掲載しました。A判定が9から11個で2個増えました。B判定は88から95個で7個増えました。C判定は16から8個で8個減っています。D判定が5から3個と2個減りました。平成29年度はCとD判定、あまり良くないものが21個ありましたが、フィードバックの結果、平成30年度にはCとDが約半分の12個となり、全体としての底上げが図られてきています。なお、平成29年度から平成30年度にかけて評価の変化があった項目の詳細は別添資料のとおりとなり、全体の印象として、市の企画と総務部門において底上げが図られたと思われま

#### 【磯委員長】

以上が事務局からの説明です。こちらの各部門の細かいところは後にして、全体的な評価としてはD評価や未実施というところは減ってきており、全体的に前進はしているのかなという印象を受けます。本日は時間も限られているので、このことについての質疑やご意見については、会議次第7の(2)の『今後の評価の手法などについて』のところでお伺いしたいと思いますので、予めご了承をいただきたいと思います。

## ②平成30年度実施分の評価の進め方の説明

#### 【磯委員長】

それでは、本題であります全体評価を進めてまいりたいと思います。評価の進め方については事務局からご説明をお願いします。

#### 【磯係長】

大きく3つの基本目標があるところでございますが、1つの基本目標ごとに20分程度で評価を進めていきたいと思っております。今回の委員による評価にあたり、委員の皆様事前に評価していただいた結果をまとめた資料がありますのでご覧ください。こちらの資料に例えば、基本目標については○が何個、施策の方向性についてはBが何個と委員の皆様の評価を集計してあります。この後皆様に、施策の方向性についてはA B C Dの判定、基本目標については◎○△▲の判定をしていただくこととなります。今回の全体評価はA B C D及び◎○△▲と平成30年度の取組都合や進捗度を測るための一定のものさしとなるところでございますが、この判定だけでは、今後市や社協が活動すべき事柄について具体性にけることかと思われま

福祉を向上させるための施策に反映していきたいと考えております。また、フィードバックした事柄について担当部局がどの程度実現できた等については、来年度の会議で報告したいと考えております。なお、委員の皆様からは、既にコメントを頂いているところではありますが、追加すべきコメント等ございましたら、この後の評価の中で申し出て頂きたいと思っております。最後に今回の評価結果及び委員の皆様からのコメント並びに会議録については、後日市と社協のホームページにて公表し、その際には委員の一覧表も併せて公表いたしますので、予めご了承願います。なお、評価等の公表にあたり、各コメントについてはどの委員からのコメントであるかは無記名とさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいところであります。

**【磯委員長】**

ただ今事務局から説明がありました手法により評価を進めさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。来年度以降の評価の手法については、次第7の(2)のところでご意見をいただければと思っておりますのでよろしくお願い致します。

**③平成30年度実施分の評価**

**【磯委員長】**

それでは、③の平成30年度分評価ということで、まず基本目標1「誰もが利用しやすい地域福祉の仕組みづくり」についての評価を進めてまいりたいと思っております。お配りしている「委員の評価集計及び総合評価」をご覧ください。黒抜きのところに基本目標があり、その下に施策の方向性が書いてあります。その横に事前に評価していただいた結果が書かれています。まず施策の方向性1から3については集計の結果を見たところだと、大半をBの「おおむね達成」が占めているのかなと思っております。基本目標についてはOがほぼで、「おおむね順調だが、不十分な点もある」という判定になるのかなと思っておりますが、委員の皆様のご意見はいかがでしょうか。またコメントして追加すべきことがありましたらお申し出ください。

**【原委員】**

まず基本的なことをよろしいですか。この計画の53ページに進行管理、PDCAサイクルと書いてある。進行管理は非常に大切だと思うのですが、この会議は年に何回開かれるのか。

**【磯係長】**

1回です。

**【原委員】**

年に1回で進行管理を行うということは5年間あって、今回は30年度の評価だと思います。社協や市に聞きたいのですが、単年度の評価・進行管理というのはどのように行っているのか教えてください。

**【磯係長】**

委員の皆様にお配りしている90ページ以上の市や社協の担当部局の自己評価があると思っております。1年分の総括をしてもらい、それをまとめたものがそちらです。

**【細川係長】**

社協も同様の方法で実施しており、取組に関する評価を年度末に各担当係に評価表を記載してもらっています。

**【原委員】**

平成30年度予定とあるが、これは目標ということですよ。この予定に対して途中の進捗管理がどう

なっているのかを伺いたいです。例えば、6月に進んでいるのか遅れているのか。まさか、年度末に全部終わったとあって、こう評価しているわけではないと思いますが。途中でどう評価しているのかを聞きたいです。

**【板橋課長】**

先ほどお答えしたのは、年度末に各担当部署に評価をしてもらっています。途中途中の進行管理に関しては、各部署で実施している・実施していないということになっておりまして、事務局としてはそこまでは求めていないということです。

**【原委員】**

途中の評価はしないということですね。この計画に対して、遅れているのか進んでいるのかを途中ではチェックしないということですね。年度が終わってから行うということですね。

**【板橋課長】**

そうです。

**【早乙女委員】**

補足すると、原さんのように民間にいた方からすると行政の評価の仕方は戸惑うと思います。5年間の目標が一番最初のところは「総合的な相談窓口の在り方を検討し、相談窓口の設置を目指します」ということが5年間での目標ですよね。それで29年度だと、企画部から公設公民館を利用した相談窓口の設置を検討しますと言っていたのが、今回は総合窓口の設置を含めた組織の見直しをしますとあって、ちょっとニュアンスの違う表現になっている。それだけを決めて5年間行っていくということなので、民間にいた方からするととても戸惑うと想像できるので、その辺は理解してほしい。特に行政は決算の時に市政報告書で結果を出す。予算の時には事業計画というものがなく、各計画で事業計画になっている。あとはローリングで行っていくということになっており、システムが異なっていると思います。

**【原委員】**

早乙女委員が言ったように、例えば半期で遅れていることがあれば、そこに残り半期は力を注ぐと思うし、計画を立て直すということを行うと思います。それがPDCAサイクルで1年終わってから評価をするということに関して、不思議に感じました。なぜこのようなことをいうかと言うと118項目あって、90%以上が継続になっている。通常目標に対して継続ということは出来なかったから継続ということ。一般の会社で90%目標達成していなかったから、潰れてしまいます。どうして途中でチェックしないのかが分かりません。

**【板橋課長】**

確かにそのようなご意見は承っております。ただ、行政の手法、民間の手法で違いがあるということを確認いただければと思います。各年度ごとで例えば118項目を他部署も含め進捗管理していくなかで、途中の管理を社会福祉課から直接の事業をチェックすることはなかなか困難であると捉えています。年度末にその年をしっかりと振り返ることでPDCAサイクルをつくる。そういった考え方で進めていくことにご了承いただきたいと考えています。

**【磯委員長】**

委員が新しい方になった時には、どういう趣旨でということなどをしっかり説明していただければと思います。膨大な資料なので難しいと思うので、事務局でご検討ください。

評価のほうに移りたいと思います。基本目標1の1「誰もが利用しやすい体制・情報提供の充実」につい

ては、数字を見るとB評価になると思いますが、いかがでしょうか。

→異議なし

続いて2「地域福祉のニーズキャッチの充実」についてですが、Aが2個・Bが14個・Cが1個。数で言えばBが妥当だと思いますがいかがでしょうか。

→異議なし

3「福祉サービスの充実と権利擁護の推進」ですが、Bが13個・Cが4個。こちらもBが妥当だと思いますがいかがでしょうか。

→異議なし

1から3とも方向性の評価はBといたします。次に基本目標に対する総合評価ですが、○のおおむね順調だが、不十分な点もあるが15個、△の推進できている部分もあるが、不十分な点が多いが2個です。総合評価という形とすると○とう判定かなと思いますが、いかがでしょうか。

→異議なし

#### 【磯委員長】

続いて、基本目標2「誰もが暮らしやすい生活環境づくり」について進めていきます。

こちらは施策の方向性が4項目あります。1の「生活環境の充実」ですが、Aが3個・Bが14個あります。2の「防災・防犯体制の充実」がBが16個・Cが1個。3の「地域での居場所づくり、活躍の場づくり」はAが1個・Bが14個・Cが2個。4の「地域における見守り体制の充実」がBが12個・Cが4個・Dが1個となっています。こちらに委員の皆様からコメントの追加や確認等々ありましたらお願いいたします。

では、1の「生活環境の充実」はBが妥当かと思いますが、いかがでしょうか。

→異議なし

2の「防災・防犯体制の充実」もB評価が妥当かと思いますが、いかがでしょうか。

→異議なし

3「地域での居場所づくり、活躍の場づくり」もBというところが妥当かと思いますが、よろしいですか。

→異議なし

4の「地域における見守り体制の充実」はいかがでしょうか。B評価でよろしいでしょうか。

→異議なし

基本目標に対する総合評価は○が妥当かと思うがいかがでしょうか。

→異議なし

では、総合評価が○、施策の方向性の1から4はB評価といたします。

#### 【磯委員長】

続いて基本目標の3「みんなで支え合う、意識づくり、人づくり、つながりづくり」の評価に移ります。

基本目標の総合評価は◎が3個、○が11個、△が3個。

施策の方向性は1の「お互いを理解し、尊重し合える環境づくり」がAが1個、Bが13個、Cが3個。

2の「地域福祉活動の担い手の育成」はAが1個、Bが14個、Cが2個。

3の「地域でのつながりづくり」はAが2個、Bが15個です。

施策の方向性1はB評価が妥当だと思うがいかがでしょうか。

→異議なし

2もB評価かと思いますがいかがでしょうか。

→異議なし

3についてもB評価が妥当かと思いますがいかがでしょうか。

→異議なし

総合評価については〇が一番多く、〇が妥当かと思われませんが、いかがでしょうか。

→異議なし

では、基本目標3についての総合評価は〇、施策の方向性1から3はそれぞれB評価とします。

これで30年度の評価は終了になります。また、今回読み上げはしませんでした。各委員から意見をもらっています。市や社協において、今日の内容を踏まえて、今後の市の福祉向上の施策に反映させていただければと思いますので、よろしくお願いします。

## (2)今後の評価の手法などについて

### 【磯委員長】

今後の評価の手法などについて、どのようにしていったら1番よいのかを委員の皆様と協議していきたいと思います。

### 【早乙女委員】

前年度も提示された資料だけでの評価はすごく大変と言った。どんな取組をしているのかをある程度周りの人から聞いたので、評価できたが、それが無ければ担当職員の自己評価しか評価の材料がない。それを何とかしてほしいと言ったのですが、特に改善がなく、新しい委員のところには本計画が送られてもならず、評価シートだけが送られている状況でした。これでは評価になり得ないので、みなさんでどうしたら良いか協議しませんか。ということで、この時間を設けてもらっている。そこで一つ提案ですが、計画策定をしたメンバーが推進委員の中に数名いるので、その方たちは分かると思います。最初は内部評価しか行わない形だったのを外部評価的に市民も一緒に評価をしようという形にした。

県内でもこのような評価の方法をとっているところはないと思うが、具体的な方策がないままスタートしてしまったことを不備に思っていました。原委員も言っていたように年に1回しか推進委員会を開催しない状況にあります。予算も1回しかできない予算どりになっています。

せめて事前に今年度の目標と取組を事前説明をして、それに基づいて推進委員が評価を行い、それに対して合議をするくらいのやり方でも良いと思います。福祉関係の方だったら、グループホームだったら外部評価をしていると思います。実際に自己評価とヒアリングを行い、そこでやりとりがあって、評価をするやり方です。せめて外部評価くらいの方法をしていただきたいということと、各課にコメントがフィードバックされるので、具体的なことも書かれているので、そこからピックアップして今年度はこれを推進していくために取り組んで行くということでも良いと思います。ただ、今年度も半分過ぎようとしているので、推進委員による評価時期と自己評価の時期をもっと早める必要があると思います。みなさんの意見も聞きたいと思います。

大変であれば、この計画は3つの基本目標に分かれているので、チームを決めて評価を行い、今日のような全体的な会議の時にチームごとにまとめたものを報告してもらって、最終的にまとめあげるといっ

た工夫をしませんかという提案をいたします。

**【磯委員長】**

その他の方はいかがですか。

**【原委員】**

30年度の予定というのを見たのですが、目標が数値化されているものがほとんどないので、どこまで進んでいるのかが分からない。確かに福祉業界の目標を数値化したり、見える化したりするのは難しいのは確かですが、スローガンではなく目標なので、達成率が分かるようにして欲しいと思います。数値化できるものは数値化してほしいので検討してほしいです。

**【磯委員長】**

早乙女委員の話を私なりにまとめると、正しい評価手法として外部評価的なものと、この会議の時期や回数、市や社協の評価の時期を早める、基本目標が3つあるので3チームに分けて評価に取り組んでも良いのではないかという意見だったかと思います。

原委員からは進捗の評価に関して、具体的なものがないとどこまで進んでいるかが分からないので、数値化できるものはしてほしいという意見だったかと思います。

**【佐藤委員】**

早乙女委員が言う通りかと思います。118項目について、読んで1人ずつ評価をしたわけですが、今日の会議の中ではBの評価が多いからBでと進んできました。例えばDが1人いるとしたら、そこに關して話し合うなどしても良いと思います。昨年度と同じ評価方法、会議の流れで変わっていません。早乙女委員が言うような評価方法ができれば少しは進むのではないかと思います。

**【磯委員長】**

佐藤委員からは単純に数が多いからそこを評価とするだけではなく、D評価が未実施があった時にそこがどうしてなのかということを考えてうえで、最終的な評価とできるとなお良いといった意見でした。

**【池澤委員】**

私は地域包括支援センターの立場でこの計画に関わっています。先ほど、原委員が言ったようにこの計画には具体的な目標はない。市民がどう思っているのかというところを地域包括支援センター職員である私が評価してしまってもよいのかという疑念は持ちながら評価をしています。市内には30名程の地域包括支援センター職員がおり、それぞれがどういう思いなのかを聞きながら評価することも必要ですし、D評価についているのはどうしてなのだろうということ聞きながら考えていくことが現状の感覚的に答えるやり方には必要だと思えます。あと福祉の現場にいて思うのですが、目標を数値化することが良いものとそうではないものがあると感じています。ここにはサロンが何個ある、サロンがない、何日開催されているなどの数値で表せるものはそれで良いと思いますが、ニーズキャッチなどに関しては、どこまでいけば良いのかが分からず、満足度的な考え方になってしまうかと思えます。これを委員のみで評価するよりかは、実際に市民の声としてパブリックコメント等を集計・集約とれるかということも福祉充足に対しての重要なところかと思えます。福祉も弱者救済から生活の満足度的な方に意味合いが変わってきているので、どうしたら良い方向にいけるのかを考えていく必要があると思うので、協力していきたいです。

**【早乙女委員】**

第3者評価やそういったところで、市民の満足度調査をすることも評価基準にある。全部を調査しよう

とすることは膨大な作業になるので、例えば地域包括支援センター利用者の満足度調査を行うことは良いと思います。

聞きたい項目をこの委員で考えて、提案していくことができると思います。実際に前回の社協が実施した各福祉団体・ボランティア団体等へのアンケート調査結果がかなり評価する上で参考になりました。今年は自治会へのアンケート結果が後から届いた。社協もそういった調査手法を持っているので、それを実施すれば満足度もパーセンテージ、数値化できるのではないかと思います。この場では具体的なことまでは詰められないので、予算がつかない検討会・研究会を実施して、評価方法を事務局も含めて考える時間が設けられれば良いのではないかと思います。来年度の評価もこの2年と同様だと嫌かと思しますので、集まれる方で検討していきませんかという提案をいたします。

**【田代部長】**

事務局として考えている評価方法としては、個別計画に関しては各計画で評価方法があります。全部を評価していくことは大変難しいと思いますが、早乙女委員からの提案にあったような手法で進めていくことも考えていきたいと思っています。

**【磯委員長】**

各々持っている知識などがあると思うので、後日集まって評価手法について集まる機会があっても良いと思います。少しでも良い方向に進むように改めて検討していけたらと思いますのでいかがでしょうか。全員と言っているわけではないので、集まれる方と事務局で考えていければと思います。

**【早乙女委員】**

磯委員長の役割が今日だけでなくまだ続いてしまっていますが、事務局と一緒に進めていってほしいと思います。

**【板橋課長】**

いろいろな貴重な意見をありがとうございます。今後の評価方法をすぐ決めることは難しいと思います。より良い推進のために推進委員の中での有志の方と事務局で考えていきたいと思っています。日程に関しては、9月議会が終わった後、10月以降で日程調整を行い、話を進めていきたいと思っています。

**【磯委員長】**

それでは、評価方法の検討についてはまた後日日程調整して実施していきたいと思っています。日程に関しては2～3カ月前に指定するわけにもいけないので、都合が合う方での話し合いになるかと思っています。ご意見がある方は事務局に予め言ってほしいと思います。

**【早乙女委員】**

各課に評価のフィードバックがあると思いますが、それに対してどう各課が推進しているのかが分からないと評価に響くので、改善計画と目標を具体的に市と社協側で示してほしいと思います。どういう手法で評価するにしても、必要なことですのでお願いしたいと思います。

**【原委員】**

福祉の事業は確かに数値化しにくい。例えば、認知症サポーター養成講座を開催するといった文言があるが、それを具体的に何回とかサポーター数を何人とかいったところを記載してほしいと思います。この書き方だと1回実施、1名増えても達成したことになってしまう。

**【磯委員長】**

これに関しては、事務局へのお願いになりますが、数値化できるところは極力入れ込んでほしいと思

ます。

評価方法のディスカッションに関しては、事務局から後日各委員へ連絡をしていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

以上で協議事項を終了とします。

## 8 その他

【板橋課長】

総合的にご意見等あればお願いします。

【佐藤委員】

推進委員はコの字で座っており、事務局が後ろにいる方もいた。事務局は全員と対面する形のほうが良いと思います。

【板橋課長】

次回からはそのようなことがないように努めていきます。

## 9 閉 会(板橋課長)